

全国各地で怒りの反転攻勢に起ろう

四九国鉄労働者集会

483名で大成功を収める

四・九全国鉄労働者集会は、東京・東交会館において、動労千葉二〇名を先頭に、革マル松崎・JR当局が一体となった、悪うつ極まる労働運動 動解体の攻撃をはねかえし、全国から四八三名の結集をかちとった。大ホールからロビーまでも埋めつくした国鉄労働者の顔には「全国にストライキの渦を巻き起こそう」「いざ反撃だ」「鉄道労連革マルを許すな」と決意がみなぎっていた。



動労総連合 水野委員長

四・一から一年が経過した。「分割・民営化」は労働組合破壊・産業報国会の攻撃であった。しかし、敵は失敗した。清算事業団の赤字は膨大で、JRもまた、イベントをはじめ大反動キャンペーンをしているが「黒字」のほとんどが定員割れと小集団でのタダ働きによる人件費の分ではない。住田ですら、このままでは「赤字になる」と言っているではないか。

「分割・民営」後どうなったのか。「本四架橋・青函トンネル、整備新幹線」等々、資本の収奪は全くかわらず、組合破壊がますます露骨に進んだだけだ。今こそ、たたかう決意と行動にかかっている。問題はこれからだ。全国のたたかう火種を大きく燃えあがらせよう。



国労共闘代表

国労は、四・一、四・九の二波のストライキに決起し、三波ストに向けたたたかいぬいている。日共はストを裏切り逃亡している。

革マル鉄道労連を解体し、協会・日共の裏切りを許さず国労の伝統を守り、最先頭でたたかう。



動労水戸 福田書記長

動労水戸は、組合員の七五%もが不当配転をうけているが、三・二七三里塚をかちとり、スト権を一〇〇%で確立した。動労水戸は、新たな決意



動労連帯高崎 和田山委員長

をかため、いよいよ反撃にうつてでる。革マル鉄道労連をかならず解体し、国労、新生動労とたたかう連帯をかちとり、最先頭でたたかう。

高崎で明日、当局・革マルと一体となった松下の葬式をやるそうだ。革マルは全員参加を強制している。

高崎は、革マル・当局が全国のトップを切って攻撃がかけられ、小集団などは年休をとってまでやらされている。「労連」には不満がうずまいていいる。今は、小数であっても、高崎でたたかい、労連解体をたたかいぬく。



動労西日本 井面委員長

一名のストに七〇名もの弾圧体制をしくなか、毅然とストをたたかった。動労西日本は原則的にたたかい一年間をむかえ、全組合員の信頼を築いた。

今、職場では差別と抑圧の暗黒支配だ。すでに二〇名もの自殺者を出している。革マル労連はこれをおしつぶそうとしている。動労西日本は、第二波二四時間ストに決起する。不満を怒りにかえよう！たたかう以外に未来はない。西日本はガンバります。

4/14全組合員 中央公園へ



日刊 動労千葉

1988.4.12

No. 2795

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七